



石川労働局発表
令和6年12月27日（金）

報道機関各位

石川労働局労働基準部

担当：健康安全課長 宮田 玄彦

地方産業安全専門官 坂本 雅治

連絡先 076 (265) 4424

令和6年度冬季無災害運動期間における 労働災害防止に向けた取組について

～ 1/30 に政労使合同安全パトロールを実施します！～

石川労働局（局長 ^{やぎ}八木 ^{けんいち}健一）においては、令和6年度冬季無災害運動期間における労働災害防止に向けた取り組みとして、政労使のトップ三者（石川労働局長、連合石川会長、石川県経営者協会会長）による「政労使合同安全パトロール」を実施します。

石川県内の令和6年の休業4日以上の労働災害死傷者数（新型コロナウイルス関連を除く。）は11月末の速報値で1,031人（前年同期比80人増・8.4%増）と増加し、死亡者数は前年の6人から12人に倍増していることに加え、冬季は降雪・凍結等の気象条件の影響による転倒災害などの急増も危惧されることから、県内事業者及び労働者の労働災害防止の意識高揚を広く図ることを目的に合同パトロールを実施しますので、報道機関の皆様におかれましては、積極的な取材をお願い申し上げます。

【 政労使合同安全パトロールの概要 】

1 実施日時 令和7年1月30日（木）午前10時～午前11時30分

2 実施先事業場 生活協同組合コープいしかわ

（所在地：石川県白山市行町西1番地）

※ 鶴来センターと物流センターの倉庫業務や物流業務等を巡視予定です。

3 参加者（予定）

石川労働局

局長 八木 健一、労働基準部長

健康安全課長、地方産業安全専門官

日本労働組合総連合会石川県連合会

会長 福田 佳央 ほか2名

（連合石川）

一般社団法人石川県経営者協会

会長 高松 喜与志 ほか4名

4 報道機関の皆様へのお願い

別紙参照

報道機関の皆様へのお願い

1 集合時間 午前9時50分までに2の集合場所に集合してください。

2 集合場所 生活協同組合コープいしかわ2階第3会議室
(別添「案内図」を参照)

所在地 石川県白山市行町西1番地

※ 当日は、石川労働局職員が駐車場付近にて待機しています。

(集合場所に関する問合せは、石川労働局 健康安全課 電話 076-265-4424 まで
お願いします)

3 概要等の説明が行われる場所
2階 第3会議室

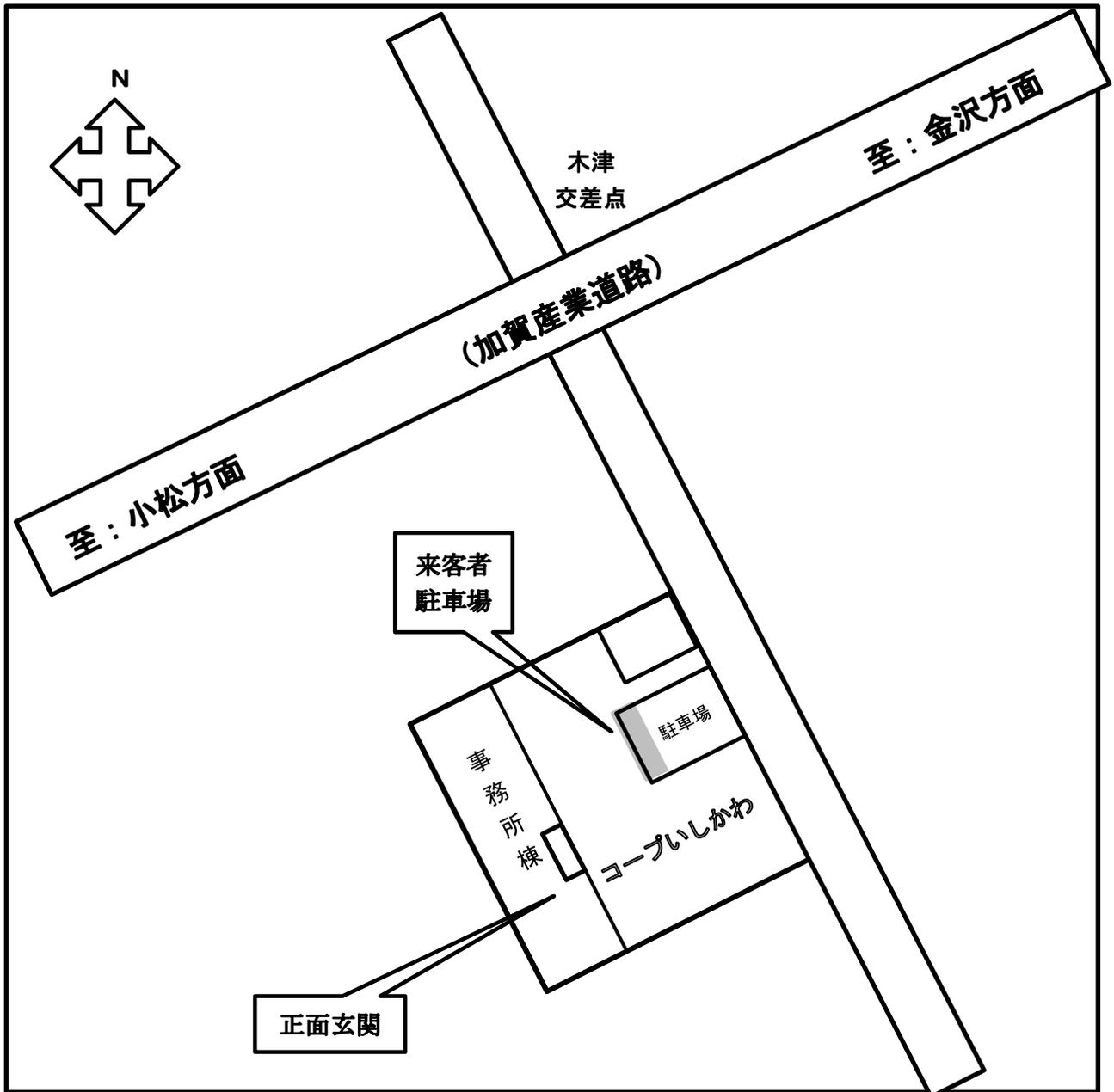
4 留意事項

(1) 取材には事前に許可が必要となりますので、恐れ入りますが、1月17日(金)までに、石川労働局 健康安全課へ電話(076-265-4424)または電子メール(メールアドレス kenkouanzenka-ishikawakyoku@mhlw.go.jp)にて、報道機関の名称、取材を行う方の氏名(フルネーム)、連絡先、使用車両等について、別紙「取材登録書」により事前にお知らせいただきますようお願いいたします。

(2) 当日の取材・撮影に当たっては、生活協同組合コープいしかわの施設内の作業者等のプライバシーに十分に配慮いただきますようお願いいたします。

(3) 感染症対策にご協力をお願いいたします。

- 正面玄関から階段を上がった2階第3会議室が集合場所です。



石川労働局労働基準部健康安全課 行き

電話番号：076-265-4424

又は電子メールアドレス：kenkouanzenka-ishikawakyoku@mhlw.go.jp

令和6年度 第2回 政労使合同安全パトロール

取材登録書

令和7年1月30日（木）に実施予定の政労使合同パトロールについて、取材を希望される報道機関におかれましては、以下の内容を事前に登録いただきますようお願いいたします。

登録は電話又は電子メール送信により令和7年1月17日（金）までにお願いいたします。

1 報道機関名（会社名および部署名）

--

2 取材記者等氏名

氏名（複数の場合は代表者）	連絡先（電話番号）	人数
		名

3 取材時に使用する車両について（自動車の種類ごとの台数）

普通自動車 台、小型自動車 台、軽自動車 台

4 その他連絡事項

冬季無災害運動

推進中!

取組
期間

令和6年12月1日～令和7年2月28日

～冬季に発生しやすい特有の災害に対する防止対策に取り組みましょう～



凍結路面での交通事故

チェーン等の装着



墜落制止用器具等の使用



急ブレーキ等の禁止



2名以上での作業



雪下ろし中の墜落

対策



積雪・凍結路面での転倒

耐滑性の高い靴の着用



点検調整時の電源OFF



滑止めマットの使用



除雪エリアの立入禁止



除雪機の刃部との接触

冬季に起きる災害!!

凍結

→転倒、交通事故など

積雪

→雪下し時の墜落、転倒、交通事故、除雪機への巻き込まれなど

災害を防止するには

◎交通事故

- ・チェーンや冬用タイヤの早めの装着
- ・急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキをしない
- ・二輪車は特に注意

◎転倒

- ・耐滑性の高い靴の着用
- ・滑止めマットなどの使用
- ・除雪の徹底

◎雪下ろし時の墜落

- ・保護帽と墜落制止用器具の着用
- ・2名以上での作業を徹底

◎除雪機の刃部との接触

- ・点検調整時の電源オフとその明示
- ・除雪エリアへの立入禁止とその明示



◎積雪・気温の低い日は転倒に注意！（事前に予報をチェック！）

冬季は、積雪・凍結を原因とする転倒災害、交通労働災害、除雪作業中の墜落・転落災害等の労働災害が多く発生します。積雪20cmを超える大雪後には、屋外のみならず屋内を含めた転倒災害が増加し、特に従業員駐車場から建物入口までの移動時に多く発生しています。わずかな距離だからと油断せず、以下のチェックリストを活用し、冬の転倒災害防止に万全の対策を講じましょう。

No	チェック項目	チェック欄
1	建物の出入口付近の床面が濡れたままとなっていないですか	<input type="checkbox"/>
2	屋外の階段や傾斜のある場所に滑り止め対策、材料等を設置していますか	<input type="checkbox"/>
3	従業員駐車場から建物入口までの除雪、凍結対策等を行っていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒災害が発生している場所、発生しやすい場所を周知していますか	<input type="checkbox"/>
5	降雪、凍結が予想される際、従業員に事前の注意喚起を行っていますか	<input type="checkbox"/>
6	冬季の交通事故防止について従業員に教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
7	歩行中の「ながら行動」の禁止、適切な履物の使用等転倒災害防止の教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
8	除雪機の安全な使用方法や除雪時の安全な作業方法を教育していますか	<input type="checkbox"/>
9	滑りやすい路面では、歩幅を小さく、足裏全体を着地するように歩いていますか	<input type="checkbox"/>
10	労働者は日頃から運動に心がけ、健康の保持増進に努めていますか	<input type="checkbox"/>

スリップ等による交通事故も多発します。転倒災害防止のためにも、余裕をもった行動を心がけましょう。

冬季特有の災害事例

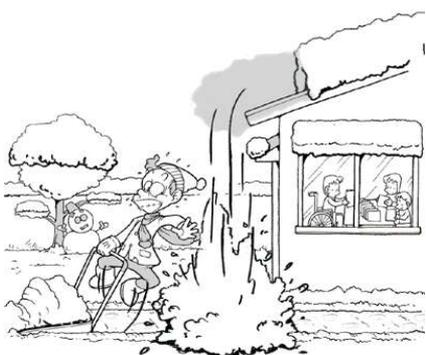
*** 重症化しています！**



事務所から工場棟へ移動する際、凍結していた地面に気づかずその上を歩いたところ滑って転倒したものの。休業3か月



荷物の配送のためトラックを運転中、凍結していたためスリップし、対向車線の車と衝突したものの。休業1か月



事業場敷地内の除雪中、大屋根から大量の雪が落下し、背中に激突し、胸部を骨折したものの。休業3か月



朝刊の配達中、玄関前のステップの凍結に気づかず、足を滑らせて転倒したものの。休業3か月